

キラキラ

…『キラキラ』の由来…

NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:65 平成19年9月15日

つぶやきサロン



【一瞬】

人間の目は2個あるのに、なぜ一つの目で見ているかのように見えるのでしょうか。皆さんも不思議に思われたことがおありですか。鏡に向かっていても、もし目玉が真ん中にあつたとしたらなど、左右に1個づつ分かれてあること不思議。

ギリシャ神話の一つ目巨人や、ゲゲゲの鬼太郎を思い出したりしてしまいます。昔々のそのむかしから、何万年もの前から人間の顔のなかに「視覚」というかたちで人間の目は今と同じように、3次元の世界を見続けてきたのでしょうか。

「ここが盲点」と言うことがあります。紙片の一部にちいさな○を書いて黒く塗りつぶします。少し間をあけて右側に×を書いてみます。右目を閉じて左目だけで×を見続け顔を近づけてある距離になったとき、「あらっ」●（黒丸）が一瞬見えなくなります。目の構造をみると、ちゃんと盲点と名のつくところがあるのですね。摩訶不思議！見えていたものが見えなくなる、見ているはずのものが見えない。これが「盲点」です。普段の生活の中でもありそうですね。

おや、昼ごはんを催促する声がします。見落としてはいけない、これは「小さなしあわせのひとつ」かも知れません。

知覚心理学者でもないわたしが、ふっと感じたことを聴いていただきました。

市民活動サポートセンター専門相談員 木村多磨子さん

……………北九州市市民活動促進検討委員会が開催されました……………

2007・8・27



去る7月、市民主体のまちづくりを進め、豊かで安全な地域社会づくりに貢献するNPO・ボランティア活動などを促進するための効果的な支援策等について検討を行うため、「北九州市市民活動促進検討委員会」が設置され、8月27日（月）に第1回目の会議が開催されました。

同委員会は、今後、3回程度開催され、NPO・ボランティア団体などへの支援策について話し合うこととしています。（詳しくは北九州市ホームページをご覧ください。）

第70回・サポートセンターの日/2007・8・28

・・・「子どもたちへ発信！新たな形の子ども応援団」というテーマで2団体にお話をさせていただきました・・・

特定非営利活動法人いじめ防止ネットワーク

代表 久保 賢二郎さん



私がこの活動を始めたのは、当時小学校6年生だった我が子のいじめ問題がきっかけでした。私自身が学校に足を運び、問題は解決しましたが、その後、福岡県でいじめによる中学生の自殺が起き、大きな社会問題となりました。いじめに悩む子ども達、親、教育関係者等に何か手助けはできないかという思いから、個人ボランティアとして「金八先生SOS」というサイト運営を開始しました。その後、賛同者を得て、「いじめ防止ネットワーク」という団体を発足、今年6月に法人化しました。主な事業内容は、いじめ関連情報の配信、及び情報収集事業と悩み相談です。その他の事業として、ボランティア活動をされている方々のホームページ作成も行っています。

私達の活動は、他の団体と違って、すべてインターネットのウェブ上での活動です。一番力を入れているのが「いじめSOSメール」です。いじめに悩む子ども、あるいはその保護者と直接メールでやり取りをし、必要な場合は、学校や教育委員会に直接連絡をして話

をします。発足以来、135件程のメールを受信しましたが、中にはいたずらメールや、2～3度でメールのやり取りが終わってしまう場合も多く、解決に至る割合は少ないのが現状です。

相談への対応は、団体のスタッフだけではできない為、サポーター制度を設け、現在全国に28人のサポーターが活動しています。いじめはデリケートな問題なので、サポーターの人間性、相談に対する応答能力は重要です。その質を高めるためにも、現在サポーターに任せられている相談者とのメールのやり取りを、団体スタッフも見られるようにすることを考えています。

その他に、3つの掲示板（①いじめで悩む人の掲示板②一般の方の掲示板③夢を語る掲示板）の他、いじめ問題アンケート調査、保護者向けいじめ発見のポイント、死なないで・いじめメッセージ、いじめ問題に関するニュース等を配信しています。

活動の中で強く感じる事は、子どもにとって一番身近な人が子どもに関心を持って欲しいということです。私達にできることは限りがありますが、一人でも多くの子ども達がいじめに悩むことなく、夢を持って生きていけるよう願って、今後も活動を続けていきたいと思っています。

<http://www.ijimesos.org>

特定非営利活動法人北九州国際自然大学校

理事長 岡本 広治さん

特定非営利活動法人北九州国際自然大学校はさまざまな活動を通して、「おたがいさまのまちづくり」に取り組んでいます。そして今回「長寿・子育て・障害者基金助成事業」として、「地域子育て支援コミュニティ『子育てホームルーム』事業」を企画、今秋にもスタートさせることになりました。

事業の3つの大きな柱の一つが、「子育てホームルーム掲示板」です。子育てで困った時や悩みがある時に投稿してもらい、先輩ママからのクチコミやアドバイスを共有できます。他の子育てサイトにも同じような掲示板がありますが、当団体の特色として、こちらから子育てに関する問題を投げかけ、たくさんの方に回答してもらい、その答えをまとめて、「子育て裏ワザ本」を作りたいと計画しています。責任問題が絡む行政や、企業にはできないNPOならではの裏ワザ本ができるのではないかと考察中です。

2つ目は「子育て通信」で、携帯電話やパソコンのメールアドレスを登録した方々に、北九州エリアの子育てに役立つ情報をお届けするサービスです。

3つ目は「ドリームエクスプレス」

で、当団体がこれから一番力を入れていきたい事業です。子ども達から夢を募集し、北九州市の環境イベントなどでおなじみの環境戦士アースマンと一緒に、夢を実現するお手伝いをします。

これまでの実績としては、身体障害のある少年の「ヘリコプターのパイロットになりたい」という夢を、毎日新聞社、(株)タカギ、LPガス協会などのサポートを受けながら、実現させることが出来ました。アースマンが生まれたのも夢の実現だし、アースマンの絵本や音楽CDも誕生しています。このような夢の実現には、「おたがいさま」という心の繋がりがが必要です。

NPOというのは、行政、企業、地域の3つをつなぐものです。この3つがうまく連携出来ると、いろんな夢が実現できます。私たちは、常に模索しながら、今後も活動を続けていきたいと思っています。

<http://www.kitakyushu.tv/~enn/>



環境戦士アースマン



情報のひろば

イベント・ボランティア

【平成19年度ボランティアのつどい】

ボランティアの育成啓発、交流、情報交換、連携を図り、ボランティア活動を推進します。

日時：10月14日（日）10：00～18：00

会場：ウェルとばた（戸畑区汐井町1-6）

2階大ホール、多目的ホール、交流プラザ等

内容：「不都合な真実」2回上映（有料）※前売券発売中
「ボランティアのつどい・分科会」、活動紹介コーナー、ミニステージ、パネル展示コーナー、イベント広場など（無料）

お問合せ：北九州市社会福祉協議会

ボランティア・市民活動センター活動推進課

TEL：093-881-0110

FAX：093-881-9680



【黄金まちNPOステーション 無料相談会】

NPO法人北九州後見支援センター

相談内容：遺言、相続、成年後見、その他暮らしの相談

日時：毎週土曜日 13：00～15：00

相談員：NPO法人北九州後見支援センター会員

NPO法人北九州まなび場

相談内容：子育てについての相談

日時：毎週火・木曜日 11：00～16：00

相談員：NPO法人北九州まなび場会員

会場：共に黄金まちNPOステーション

【お問合せ・連絡先】

黄金まちNPOステーション運営委員会

TEL/FAX：093-980-9500

【チャリティヘアサロン スネガビーク2007】

プロのスタイリストさんたちに髪を切ってもらい、収益はチェルノブイリ事故で被害を受けた人たちへの医療支援になります。

日時：10月8日（月・祝）10：00～15：00

会場：大村美容専門学校オムニス・スタジオ

（福岡市中央区大名2-1-35 tryent 山崎2F）

メニュー：シャンプー、カット、ブロー（1,500円）

定員：80名（先着・要予約）

※当日飛入り受付は14：30まで

※カフェスペースにて美味しい有機無農薬コーヒー

1杯と手作りクッキーをサービス。

主催・予約・お問合せ：

NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク

TEL/FAX：093-203-5282

<http://www.cher9.to> jim@cher9.to

【北九州NPO研究交流会のご案内】

「市民がまんなか。」

—あなたが変わる、社会が変わる—

NPO研究交流会では「交流の場」「情報の場」「ネットワーク形成の場」として定例会を毎月開いています。市民活動団体（NPO）で活動中の方はもちろん、関心のある方はどなたでも参加できます。お待ちしております。

開催日：毎月第2金曜日 18：30～

会場：主に北九州市市民活動サポートセンター

参加費：一般300円 会員100円

連絡先：FAX：093-562-5310

北九州市市民活動サポートセンター気付

<http://www.kitakyushu.tv/~nkenkouryu/>

info_nken@yahoo.co.jp

★NPO公益活動支援事業 第二募集のお知らせ

NPO法人などの市民活動団体が行う専門性を発揮した取り組みや先進的な事業に対して、事業費の一部を助成。対象は市内に主たる活動拠点を有するNPO法人、一定の条件を満たす市民活動団体。

助成金額：1団体あたり上限50万円

応募締切：9月28日（金）※当日消印有効

申し込み・お問合せ：

北九州市総務市民局地域振興課市民活動支援係

〒803-8501

北九州市小倉北区内1-1 本庁舎2階

TEL：093-582-2111

FAX：093-562-1307

<http://genki365.net/gnkk03/pub/sheet.php?id=15000>

助成金

★身体障害者及び知的障害者福祉助成

障害者の福祉に関する事業を直接営む設立後1年以上活動している団体で、公的援助が少なく、経済的な支援が必要な団体で、助成金を積極的に活用できる団体
助成対象：建物、設備、什器備品等の有形固定資産の購入又は修繕の経費

助成金額：1件につき30万円程度～100万円

応募締切：11月30日（金）※当日消印有効

社会福祉法人 新日本友の会（担当 山田）

〒108-8005

東京都港区港南1-8-15 Wビル17F

TEL：03-5495-2784

FAX：03-5495-2785

<http://www.shinnihon-tomonokai.or.jp/file/a.html>

NPO法人の申請・認証状況

全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成19年7月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
都道府県	30,778	29,546	297
【福岡県】	1,084	1,035	1
内閣府	2,776	2,543	112
全国計	33,554	32,089	409

北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成19年8月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	224	222	—

8月に認証された特定非営利活動法人

- 八幡西共同作業所 (8月1日認証)
- 北九環浄研 (8月21日認証)



私たち、視察に行ってきました！

8月30日(木)の休館日を利用して、市民活動サポートセンターの職員4人で市内の関連施設を視察しました。視察先は、社会福祉協議会、東部障害者福祉会館、身体障害者福祉協会、障害福祉ボランティア協会、北区ボランティアセンター、黄金まちNPOステーションの6ヶ所です。

1箇所の滞在は短時間でしたが、漠然としていた仕事内容への理解が、直接お話を伺うことで明瞭になりました。また、どこにあるのかという場所とそこに携わっている方の顔が分かり、今後私達がコーディネートするようなとき、仕事が大変しやすくなったと感じています。

黄金まちNPOステーションでは、シャッターの閉まった店を事務所として立ち上げてから3年が経過し、地域からも受け入れられている様子を聞いて、まちづくりの実践を見せて頂いた気がしました。

今後もこのような視察の機会を持ち、いろんな施設と連携をはかりながら、市民活動サポートセンターの業務を充実させていきたいと思っています。

お忙しい中、時間を割いて視察にご協力くださった方々にはとても感謝しています。



北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4
北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

- ◆サポートセンターの日 …毎月テーマを変えて、交流会をしています。
- ◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00
日曜・祝日 13:00～17:00
- ◆ミーティングコーナー…パーティションで仕切った無料の会議室。
※要予約
- ◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。
- ◇利用時間◇月曜日～土曜日《10:00～21:00》
日曜日・祝日《10:00～17:00》
【休館日】9月27日(木)

編集後記

9月に入りましたが、まだまだ暑い日が続いています。

この夏は、小学生の子ども達と接する機会があり、一緒にホテルを見に行ったり、川で魚を探したり、花火をしたりと楽しみました。

そんな話を東京の友人にすると、自然とふれあう機会が無いと羨ましがっていました。

自然とふれあう子ども達はとても楽しそうでした。自然を残していけたらいいなと思います。 By.ち～☆